

全国の医師が本当に求める 医療秘書を養成

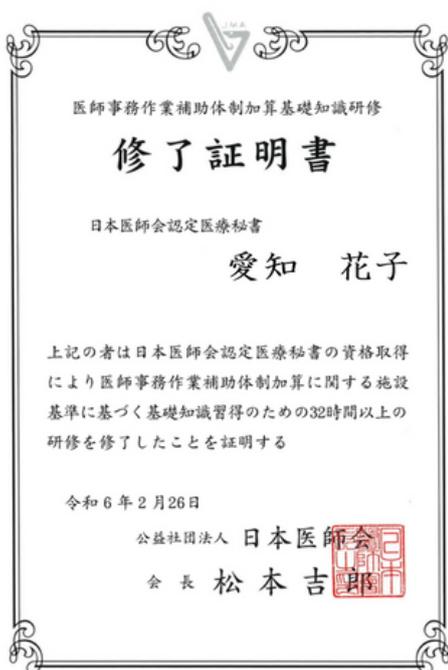
日本医師会では、昭和56年より、専門的な医療事務の知識と最新の情報処理技能を兼ね備えた「日本医師会認定医療秘書」の養成を開始しました。

養成は日本医師会が認定した養成機関で行われ、カリキュラムは、基礎的な医学知識、情報処理、秘書知識、ビジネスマナーまでしっかり学べる内容で、全国の医師が本当に求める医療秘書を養成しています。

各医療機関は新たに医師事務作業補助者を配置した場合には6か月の研修期間が義務づけられていますが、日本医師会認定医療秘書資格取得者は、そのうちの基礎知識習得のための32時間以上の研修が免除されます。日本医師会認定医療秘書認定証交付者には、それを証明する医師事務作業補助体制加算基礎知識研修修了証明書が交付されます。



愛知県医師会
会長 榑木 充明 様



あいちビジネス専門学校は、日本医師会が認定している養成校のひとつであり、認定試験の合格者数は全国でも圧倒的に多く、医療機関への就職率も非常に高いです。

国民の医療に対するニーズが多様化し、医療機関では事務職員をはじめとして優秀な人材の確保が求められています。即戦力として働くことができる日本医師会認定の医療秘書は、チーム医療の一員として医療機関で重要な役割を担うものと考えています。